

# 令和6年6月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

I. 日 時 令和6年6月20日（木） 14時00分～16時14分

II. 出席者 横手学長、草開、黒木、塩尻、渋沢、島田、西堀、舩橋、宮坂、森島、中谷、後藤、藤江、小澤、丸山、岩崎、小林、伊藤、三木、大鳥、諏訪各委員

がざー 角倉、山本各監事  
(欠席者：岩田、香藤、河田、銭谷、正宗各委員)

※下線はオンライン出席者

III. 前回議事録について  
原案のとおり承認された。

IV. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 令和5年度決算について

丸山理事から、令和5年度決算について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

2. LP 出資の実施について

岩崎理事から、LP 出資の実施について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ LP 出資することにより、医学あるいは工学等のさまざまな分野における技術の発展や特許等をどのように活用することができ、どのように大学とリンクするのか。また、大学において、投資の目利きはどのように存在し、目利きの制度化等について、どのように考えているのか。

○ LP 出資の場合、大学は投資先を決める権利がない。今後、出資先にシーズを提供するコミュニケーションツールの作成を考えており、シーズとして共同研究等を出すことが可能なので、このツールを通して、大学とリンクができるのではないかと考えている。また、目利きについては、誰かが一方的に判断するのではなく、成長性や技術等さまざまな要素について多面的に意見を聞いた上で決定するかたちとなっている。

○ 大学の現状として、学術研究・イノベーション機構の高度特定専門員（以下「URA」という。）が研究と民間企業等、外部をつなぐ役割を担っており、URAの活躍により、大学発ベンチャー企業が立ち上がっている。また、URAと銀行等からの客員コーディネーターとが一緒に活動し、大学のシーズと企業等のニーズの調査及び検討を行っている。

◎ LP 出資に加えて、さらにスタートアップを促進させる取り組みはあるか。

○ 学内にアントレプレナーシップを涵養するスタートアップ・ラボがある。アントレプレナーシップを持った学生を育てることが重要であり、その育成を全学的に広げる取り組みを進めようとしている。

### 3. 学長選考・監察会議委員の選出について

横手学長から、学長選考・監察会議委員の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

- 横手学長が就任されてから、部局との対話を推進され、新しいことに取り組みされており、期待を持ちつつある。これから新しい委員のもとで、学長選考の議論をしっかりと行っていただき、共に全員で大学の再構築を図っていくことができると願っている。

## V. 報告事項

### 1. 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について

丸山理事から、国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について、資料に基づき報告があった。

### 2. 令和5年度資金運用実績及び令和6年度資金運用方針・資金運用計画について

丸山理事から、令和5年度資金運用実績及び令和6年度資金運用方針・資金運用計画について、報告があった。

### 3. 令和5年度卒業生・修了生の進路状況について

小澤理事から、令和5年度卒業生・修了生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

### ◎ 医学部、看護学部、薬学部の国家試験の合格率はどのくらいか。

- 今年は例年に比べて良かった。全国平均よりは低かったが、全体的にこれまでの大学の中でも良い合格率であった。

- 看護師、保健師は1名不合格、助産師は6名受験し全員合格だった。

### 4. 令和6年度千葉大学入学状況等について

小澤理事から、令和6年度千葉大学入学状況等について、資料に基づき報告があった。

### 5. 医学部附属病院の運営状況について

大鳥副学長から、医学部附属病院の運営状況について、資料に基づき報告があった。

### 6. 千葉大学創立75周年記念式典及び陸上競技場オープニングイベントについて

中谷理事から、千葉大学創立75周年記念式典及び陸上競技場オープニングイベントについて、資料に基づき報告があった。

### 7. 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例について

丸山理事から、経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 老朽化対策資金の積み立てにおいて、何%積み立てる可能性があるのか。
- 会計制度は創設されたが、現在の収支状況からするとプラスマイナスゼロにもっていく段階である。今後、収入増加やコスト削減等を行い、積み立てができるようにもっていくことが現時点の目標である。
- 8. その他
  - 横手学長から、会議全体を通して、あるいは学長選考・監察会議の在り方等含めて意見を伺いたい旨の発言があった。
  - 主な意見は以下のとおり。
- ◎ 企業において、後継計画は指名委員会を設置し、しっかりとしたプロセスをとって進めている。場合によっては、外部コンサルトの客観的な意見を取り入れていくことも必要である。
- ◎ 学長選考に関し、より良い選考を目指してしっかり議論する必要があるのではないかと感じた。
- ◎ 既存規程の内容を改めて検討されるかと思う。規程に基づいてしっかりと運営した上で、今後より良い運営を検討して皆さんの納得を得られるようにという横手学長のご発言にとっても感銘を受けた。
- 学長選考をめぐる議論を行うことは極めて重要であり、議論を進める動きはとても素晴らしいと思う。寄せられた意見に対してもしっかりと検討していただきたい。
- ◎ STEM等への女性進出が必要であると言われており、関係する学部女性何名入学したか等、大学が女性をそのような面で応援していけると、日本社会全体の貢献にもつながるのではないかと思う。
- ◎ 各学部のファカルティにおいて、ジェンダーバランスが非常に重要であるため、そのジェンダーバランスがどうなっているか、まとめたデータを出していただきたい。
- ◎ 病院の報告の際に、千葉大学卒業生を多く採用したいと話したが、卒業生に限らず多様性をふまえて、全国あるいは全世界から優秀な人を確保する方向へ進めていただきたい。

以 上